

<総合的な学習の時間における活用のポイント>

- ① 情報収集、仲間との情報共有、思考ツールによる分析等に用いて探究を充実させる。
- ② 個々で画像・動画・数値データの集積、仲間とのデータ共有による協働などで、個と集団の学びを深める。
- ③ 端末を家庭に持ち帰って調査・情報収集・分析・まとめるなど、学校と家庭・子ども同士をつなぎ時間と空間を超えて学ぶ。

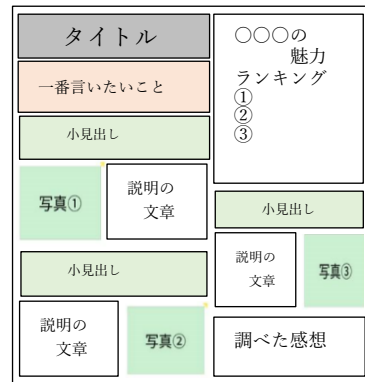
事例1 ふるさと調べ (★)

- ① 調べ学習では、教師が事前に選びインターネットのリンク集を作成する。
- ② 教師が情報の抜き出し方や言葉の選び方を指導する。
- ③ 児童が、調べたことを付箋機能に一言でまとめる。
- ④ 児童が、共通点のあるものを色分けし、エクスクォートを用いて分類する。
- ⑤ リフレット等の作成では、教師がテンプレートを提供し、児童は型に合わせてまとめる。
- ⑥ 教師がソフトの使い方の説明動画を作成し、児童は端末にダウンロードする。
- ⑦ 児童は説明動画を見ながら作成する。



付箋をエクスクォートで分類

使う機能：付箋
思考ツール



テンプレート例

効果的ポイント

- ・説明動画を端末に入れておくことで、児童が分からなくなった時に自宅でも繰り返し見直すことができ、自分で作業を進めることができる。
- ・全員が同じ型を使用することで、情報の比較やつながりの発見がしやすくなる。

事例2 ふるさと地域学習「ふるさとCMづくり」(★)

- ① グループごとに取材地の魅力を発信するため、生徒が取材活動を行う。
- ② 校外学習の際、グループで1台端末を持ち出し、取材先でのインタビューや取材地の写真を撮影する。



タブレットを使用した取材活動

使う機能：
・カメラ
・無料アプリ「Clipchamp (クリップチャンプ)」
<https://clipchamp.com/ja/>

- ③ まとめ学習を行うにあたり、グループごとに Google アカウントを割り当てる。そのアカウントを使用して撮影したデータを Google ドライブ上に保存する。
- ④ CM作成では、Web 上で編集作業のできる「Clipchamp (クリップチャンプ)」を使用する。
・自宅でも、パソコンからグループの Google アカウントでログインして編集が可能。



取材地の魅力をまとめた制作物

効果的ポイント

- ・容量の大きなデータを直接やり取りすることなく、自分が編集作業を行う端末にダウンロードでき、端末を持ち帰って自宅でも作業ができる。
- ・編集中のファイルも Google ドライブに保存することによって、端末を持ち帰ることなく自宅のパソコン等でも編集作業の続きが可能になる。また、ファイルを共同編集可能な設定にしておくと、自宅にいながらグループ全員で制作物の編集ができる。